

国営飛鳥歴史公園  
キトラ古墳周辺地区基本計画

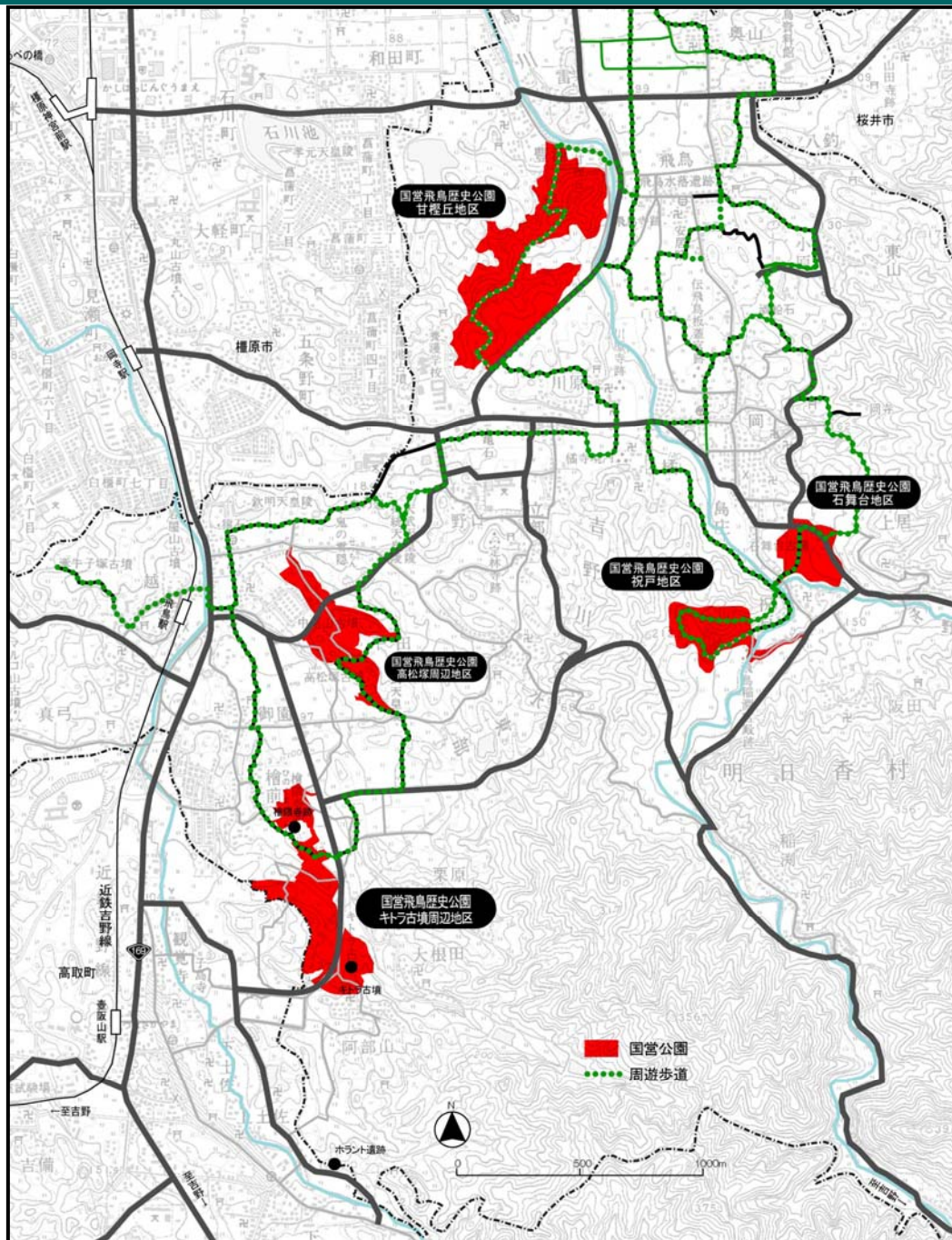
平成20年8月13日

国営飛鳥歴史公園事務所

## ■目次

- 国営飛鳥歴史公園位置図
- キトラ古墳周辺地区計画平面図兼周辺現況図
- キトラ古墳周辺地区整備のテーマ
- キトラ古墳周辺地区の整備スケジュール（案）
- ゾーニング図
- キトラ古墳周辺環境保全エリア
- 歴史体験学習エリア
- 歴史的風土保全活用エリア
- 檜隈寺跡周辺環境保全エリア

# ■ 国営飛鳥歴史公園位置図





# ■キトラ古墳周辺地区計画平面図兼周辺現況図





キトラ古墳の保存と活用、及び檜前寺跡などの周辺の歴史資産を活かし、東アジアにおける交流で培われた歴史が訴える古代の時空間と生活文化の、歴史とともに育まれた風土の中における体験・学習、あわせて交流を通じた地域の活性化に資する公園づくり

### キトラ古墳: 国の特別史跡(2000年)

- ・昭和58年11月 ファイバースコープで北壁の玄武を確認
- ・主要キーワード  
完全な四神 人身獣首の十二支像 アジア最古の精密な星宿図

※特別史跡キトラ古墳の保存・活用等に関する調査研究委員会(文化庁)  
平成16年 7月 第6回 剥離している壁画の剥ぎ取り決定  
9月 第7回 壁画全てのはぎ取りを決定

### 檜隈寺跡(於美阿志神社): 国の史跡(2003年)

(十三重石塔は国の重要文化財(平安時代))

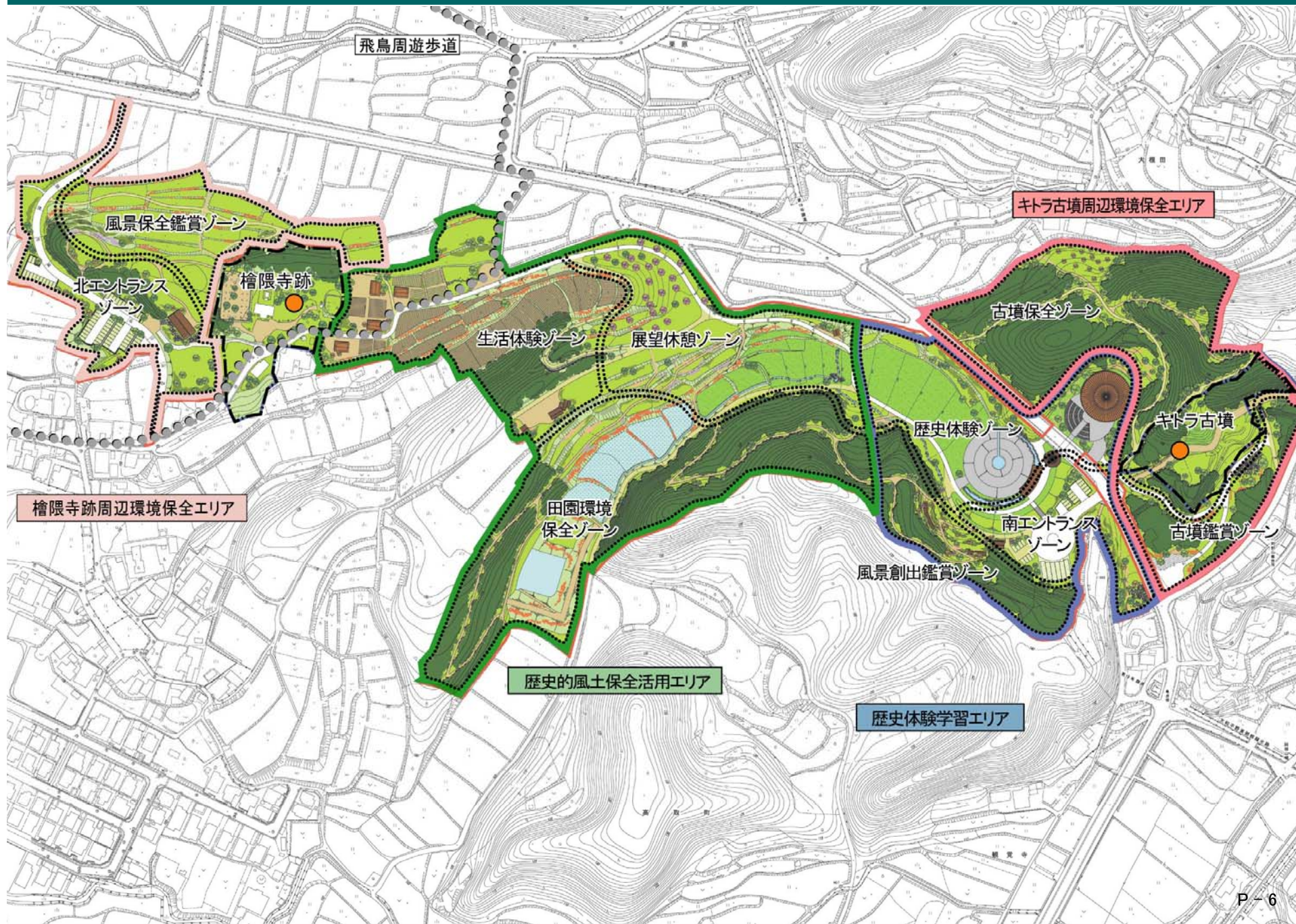
- ・主要キーワード  
檜隈氏(東漢氏(やまとのあやうじ)の中心氏族)の氏寺 瓦積基壇 → 渡来人系氏族との関係  
於美阿志神社(阿知使主(あちのおみ)を祀る)  
4世紀末 阿知使主、朝鮮半島から渡来。檜隈に住み、大和王権の役人となる。  
庵入野宮(いおりのみや)ー宣化天皇

## ■キトラ古墳周辺地区の整備スケジュール（案）

エリア	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
全体スケジュール	用地取得										
		基本設計									
		文化財調査									
		実施設計									
		工事									
											開園
キトラ古墳 周辺環境 保全エリア			文化財調査		実施設計		工事				
歴史体験学習 エリア		文化財調査			実施設計		工事				
歴史的風土 保全活用 エリア		文化財調査			実施設計		工事				
檜隈寺跡 周辺環境 保全エリア		文化財調査		実施設計		工事					



# ■ゾーニング





# ■キトラ古墳周辺環境保全エリア

キトラ古墳とその周辺の環境を一体的に保全する区域

## ①古墳保全ゾーン

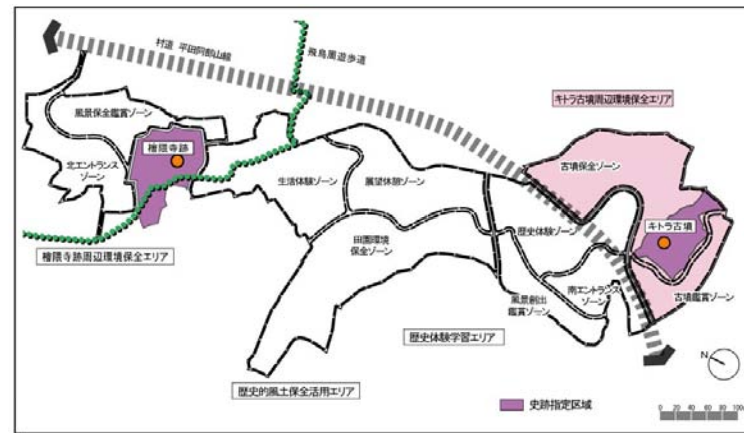
キトラ古墳周辺の樹林地を、古墳本体と一体となった環境として保全するため、樹木の保護や表土の流出を防ぐ地被類の植栽などの高質な管理を行う。

## ②古墳鑑賞ゾーン

キトラ古墳の全容が見渡せる空間として鑑賞広場を整備するとともに、に季節感漂う野の花等による修景を行う。



□古墳鑑賞広場



□キトラ古墳周辺環境保全エリア 位置図



□キトラ古墳周辺環境保全エリア 主要施設位置図



# ■ 歴史体験学習エリア

キトラ古墳の存在を通じて体験的歴史学習を展開する区域

## ① 歴史体験ゾーン

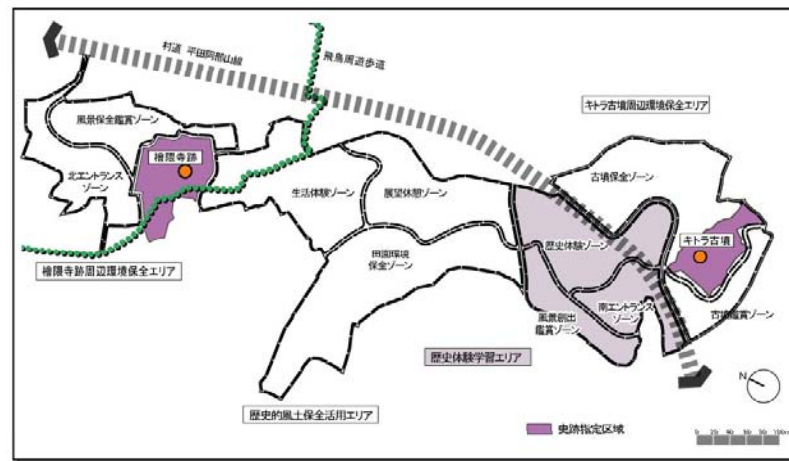
様々な歴史的文物の展示等を行うほか、館内外での体験的歴史学習の中心となる施設を整備する。マルチメディアや双方向型の展示等により、楽しく分かりやすい歴史学習の拠点とし、企画展示やイベント等の企画にも対応していく。また屋外での体験学習の広場として、古代の風習や行事体験、星宿図にちなんだ天文観測など、工夫をこらした企画を展開する場とする。

## ② 南エントランスゾーン

キトラ古墳への団体客や一時立ち寄り客の利用に対応した駐車場として、大型観光バスの駐車も可能な空間とする。また、古墳本体・展示施設に近接することから、自転車来園者のための駐輪場の整備を図る。

## ③ 風景創出鑑賞ゾーン

体験学習広場周辺の斜面地は、公園の骨格的景観を構成するとともに視点場として重要であるため、積極的な修景を図る。



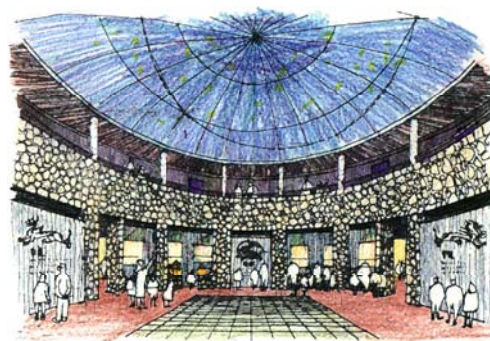
□ 歴史体験学習エリア 位置図



□ 体験学習エリア 主要施設位置図



□ 歴史体験広場



□ 体験学習館



# ■ 歴史的風土保全活用エリア

歴史的風土を保全しながら、多様な利活用を展開する区域

## ① 田園環境保全ゾーン

谷筋に展開する農地等を活かし、古代米などの栽培や参加型による里地里山空間としての良好な環境づくりを進めていくことで棚田景観の保全・再生を図る。

## ② 展望休憩ゾーン

遠景に金剛葛城山系の山並み、近景には大根田集落や棚田景観を望むことができ、かつ周囲の谷筋と尾根筋が織り成す飛鳥らしい風景を鑑賞する空間とする。また、キトラ古墳周辺地区の中央に位置するため、周辺に配置された体験フィールドとの連携によって催しにも対応する。

## ③ 生活体験ゾーン

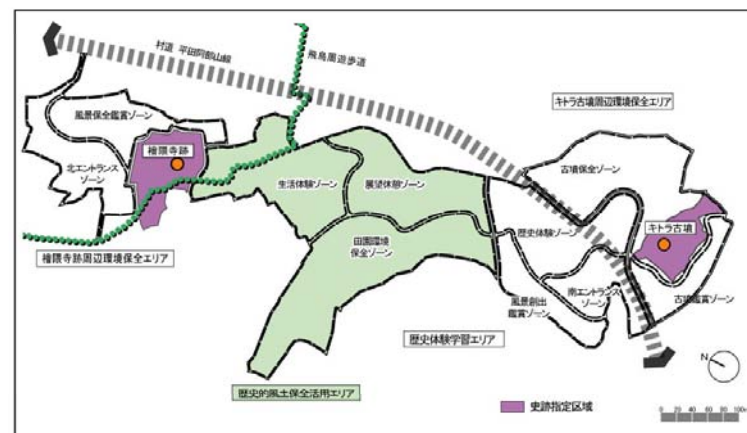
檜隈寺跡に隣接する場所であることから、田園風景を再生するとともに、渡来人がもたらした大陸文化や先進の技術を体験できる工房群を設置し、当時の生活が体験できる場とする。また、地区全体の管理を行う施設を設け、参加型の新しい維持管理手法の実験の場とする。



□ 田園環境保全ゾーン



□ 体験工房



□ 歴史風土保全活用エリア 位置図



□ 歴史風土保全活用エリア 主要施設位置図



# ■ 檜隈寺跡周辺環境保全エリア

檜隈寺跡周辺の環境を一体的に保全する区域

## ① 風景保全鑑賞ゾーン

平田阿部山線沿いに続く棚田地形を活かしながら、史跡周辺の保全を行うとともに、高松塚古墳を眺めることができる場として展望所の配置を行う。

## ② 北エントランスゾーン

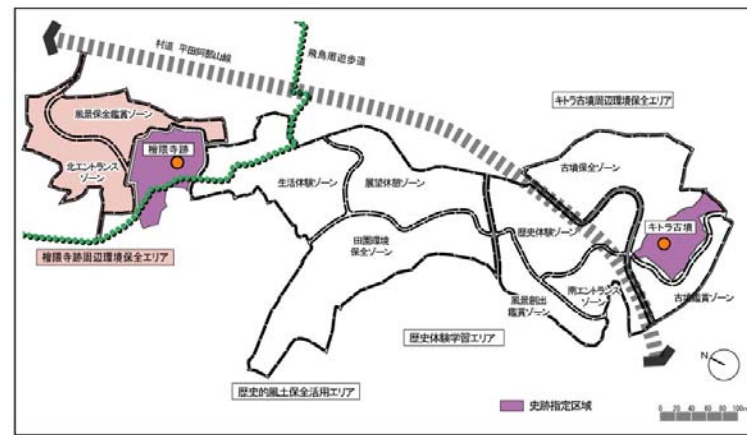
飛鳥駅や高松塚周辺地区からのエントランスとして、情報提供および購買等のサービス提供をおこなう施設と駐車場を設け、農産物をはじめとする地域産品の展示販売などのイベントを行いながら賑やかな空間演出を図る。



□ 檜隈寺跡



□ 高松塚周辺地区への眺望



□ 檜隈寺跡周辺環境保全エリア 位置図



□ 檜隈寺跡周辺環境保全エリア 主要施設位置図